

消防出初式 (1/19)



1 2月定例会・議会を傍聴しませんか……………	2～3P
横芝光町の町政を問う！ 一般質問7名……………	4～11P
二常任委員会合同視察研修・議会ダイアリー ……	12～13P
編集後記……………	14P

12月定例会

条例改正・補正予算など13議案を可決

令和6年12月定例会は、12月3日に招集され9日間の会期で開催されました。
定例会に提出された議案は、町長提出13議案で、いずれも慎重な審議が行われ、可決されました。
また、7名の議員による一般質問を行い、12月10日に閉会しました。

議決結果 ≪12月定例会≫

賛成＝○ 反対＝● 欠席＝欠

議案13件のうち、賛否が分かれた案件は1件でした。議案名中の「横芝光町」と「～について」は、省略表示しています。

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16
			森大地	内田美穂	霞浩子	市原成一	印東彦治	小倉弘業	森川貴恵	秋鹿幹夫	宮園博香	山崎義貞	鈴木輝男	川島仁	川島富士子	鈴木克征	鈴木唯夫
議案第1号	専決処分の承認を求めること（令和6年度一般会計補正予算（第3号））	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	（注）議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明します。	欠	○	○	○
議案第2号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第3号	特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第4号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第5号	附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第6号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第7号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同約の一部を改正する規約の制定に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第8号	令和6年度一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○		欠	○	○	○
議案第9号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第10号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第11号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第12号	令和6年度町営東陽食肉センター特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○
議案第13号	令和6年度病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		欠	○	○	○

請願 1 件を不採択・陳情 1 件を採択

12月定例会に提出された請願 1 件と陳情 1 件は、総務経済常任委員会及び民生文教常任委員会へ付託され、審査されました。結果は下記のとおりで、採択された意見書 1 件は議長名で各関係機関へ提出しました。

件名 請願・陳情者氏名	付託 常任委員会	本会議の 採決	発議件名 採決	意見書 提出先
請願第 1 号 「成田空港機能強化により、住民の健康に及ぼす被害への健康調査の実施」についての請願書 航空機騒音から生活を守る会 会長 鈴木 信雄	総務経済 常任委員会 不採択	不採択		
陳情第 1 号 訪問介護基本報酬の引き上げと介護報酬の再改定を求める陳情書 社会保障推進山武（山武市・東金市・九十九里町・横芝光町・芝山町）地域協議会 会長 野老 貞一	民生文教 常任委員会 採択	採択	発議第 1 号 訪問介護基本報酬の引き上げと介護報酬の再改定を求める意見書 可決	内閣総理大臣 厚生労働大臣 財務大臣

賛成＝○ 反対＝● 欠席＝欠

議案番号	議決結果	1 森 大地	2 内田 美穂	3 霞 浩子	4 市原 成一	5 印東 彦治	6 小倉 弘業	7 森川 貴恵	8 秋鹿 幹夫	9 宮園 博香	10 山崎 義貞	12 鈴木 輝男	13 川島 仁	14 川島富士子	15 鈴木 克征	16 鈴木 唯夫
発議第 1 号	原案可決	○	○	●	●	○	○	欠	○	○	○	／	欠	●	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

《請願・陳情の提出方法》

町民の皆さんの意見や要望を町政に反映させるために、請願や陳情という方法があります。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

◎提出方法 請願（陳情）は、議会の開会、閉会中を問わずいつでも提出することができます。ただし、提出については、持参を原則といたします。

◎提出先 請願（陳情）は、議長あてに議会事務局へ提出してください。

◎その他 請願者（陳情者）は、住所を記載し、署名または記名押印をしてください。法人などの場合は、名称及び所在地を記載、代表者の署名または記名押印が必要です。（鉛筆書きは不可）



議会を傍聴しませんか

3月定例会は、2月下旬から開催する予定です。議会開会中は、議会を傍聴することができます。

なお、3月定例会の日程等詳細については、決定次第、防災行政無線及び町ホームページでお知らせいたします。

※なお、会議録の掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和6年9月議会定例会までご覧いただけます。

《傍聴席での主な注意事項》

- ・電子機器（携帯電話・カメラ・パソコン等）は使用できません。
- ・録音機や拡声器類を携帯した方、酒気帯び等の方は入場できません。
- ・飲食や喫煙はできません。
- ・私語、談話又は拍手をしたり、みだりに席を離れることはできません。



※HP議会会議録

横芝光町の町政を問う！



森川 貴恵 議員・・・P5

- ◆町民を犯罪から守るための施策は
- ◆子供の体力、運動能力の向上は

秋鹿 幹夫 議員・・・P6

- ◆国保特別会計の改善を
- ◆健康寿命を延ばす取り組みは
- ◆PFI事業を活用した健康増進に係る企業の誘致を



内田 美穂 議員・・・P7

- ◆不登校のご家庭への情報提供は
- ◆外国籍の子どもたちへのサポートは
- ◆いじめ重大事態が起きた時の行動指針は
- ◆切れ目ない支援をするためには

市原 成一 議員・・・P8

- ◆今後の予算編成方針が重要では
- ◆移住子育て世帯住宅事業は検討不足では
- ◆重要な事業は庁議で意見助言を求めるべき
- ◆養護老人ホームの経営安定化を



宮蘭 博香 議員・・・P9

- ◆今年度末退職職員数は
- ◆現在休業中の職員数は
- ◆来年度採用職員数は

川島 富士子 議員・・・P10

- ◆未来の宝を育てる教育行政・GIGAスクール端末の更新は
- ◆優しさあふれるまちづくり・アピアランスケア支援事業の導入は
- ◆活力ある誇れるまちづくり・合併20周年記念事業は
- ◆活力ある誇れるまちづくり・地域ブランド力強化の更なる支援を



山崎 義貞 議員・・・P11

- ◆地元負担なしで消防団員の詰所建設を
- ◆農業従事者支援策充実を



森川貴恵 議員



高齢者の防犯対策費用を補助する

制度の導入を検討しては



各自治体の事例を
研究させていただきたい

町民を犯罪から守る
ための施策は

過去に当町で発
生した犯罪の状
況は

千葉県警犯罪発
生情報によると、
令和5年の発生総件数
は136件、空き巣、
忍び込み、車上狙いな
どの窃盗犯罪が109
件、暴行、傷害などの
粗暴犯罪が7件、詐欺
などの知能犯罪が2件、
殺人、強盗などの凶悪
犯罪が1件。令和元年
と比べ34件の増となっ
ています。

高齢者が巻き込
まれた犯罪の状
況は

訪問販売や電話
での詐欺等が挙げ
られます。当町では
前年より3件減少して
いますが、山武市、匝
瑛市では被害が増えて
いる状況にあります。

これまでどのような
対策を行ってきた
か

警察からの依頼によ
り防災行政無線を活
用し町民へ注意喚起を行っ
ています。また防犯協会
では犯罪抑止を目的として毎
週土曜日の夜と月2回水曜
日の午後に青色回転灯装着
車によるパトロールを実施
しています。

若者を犯罪から守る
ための対策は

警察では、サイバー
パトロール等の対応
が取られています。環境防
災課としても関係機関と協
力し啓発活動に努めるとも
に、重大事案に発展しま
いように注意してまいりま
す。

防犯教育はどのよう
に行っているか

スマートホンの使用
ルール、マナー、ネッ
ト犯罪について指導してい
ます。中学校の新生入生に対
しては、講師を招いて情報

モラル教育を行っています。
また、警察からの啓発情報
は学校だよりを通して保護
者に通知しています。

子供の体力、運動能力の
向上は

全国体力・運動能力、
運動習慣調査の結果
をどのように分析してい
るか。

全国的な傾向と同様
に、当町におきまし
ても体力の低下や運動離れ
が大きな課題となっていま
す。

児童・生徒の体力向
上に向けた取り組み

業間体育でマラソン
を実施したり長縄跳
びを実施したりして体力向
上を図っている学校や、業
間と昼休みのどちらか1回
は外で遊ぶことを児童に徹
底している学校もありま
す。その他に、学校のホー
ムページで「体力向上プロ
グ」を開設し、保護者に体

力向上に関心をもってもら
えるよう情報発信している
学校もあります。

問題解決のためにど
のようなことを計画
しているか

授業の中で、馬跳び
などの補強運動を取
り入れている学校や業間体
育の内容を見直し、児童生
徒の体力向上と社会性の育
成を目指す「遊・友スポー
ッランキングちば」の活用
を予定している学校もあり
ます。

将来の病氣予防、日
常生活のけが予防に
どのようにつなげていく
か。

日頃から、運動をす
ることに自ら関心を
持ち、外遊びや部活動に意
欲的に取り組めるよう指導
することで、けがや病気に
かかりにくい体づくりの強
化を行っているところです。



Q 国保会計改善に向けた健康増進施策を

A 計画に沿った保険事業を実施する



秋 鹿 幹 夫 議員

Q 財政の健全化に向けては、健康寿命を延ばす事が対策の1つと考えられるが、取組状況は。

タヘルス計画を策定し、本年3月には「第3期データヘルス計画」を策定しました。データヘルス計画では、

A 当町においては、平成25年6月に閣議決定された「日本再構築会議」、平成26年3月の「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」において、保険者は「健康・医療情報を活用してP

当町の現状を整理し、健康・医療情報の分析結果に基づき健康課題を抽出して、重症化予防、特定健診・特定保健指導、生活習慣病発症予防、健康づくり等の実施計画・目標値の設定など保健事業について内容を整理しています。データヘル

DC Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行う」とされたことを受け、平成27年度にデー

タヘルス計画を策定し、本年3月には「第3期データヘルス計画」を策定しました。データヘルス計画では、当町の現状を整理し、健康・医療情報の分析結果に基づき健康課題を抽出して、重症化予防、特定健診・特定保健指導、生活習慣病発症予防、健康づくり等の実施計画・目標値の設定など保健事業について内容を整理しています。データヘルス計画に沿った保健事業を実施することにより被保険者の健康の保持増進を図り、健康寿命の延伸につなげたいと考えております。



Q

他でも社会環境に働きかけた健康事業を実施する事が、健康に

ので、この交付金充てる事も出来そうだが、考えてはどうか。

A

ハード面での事業は対象ではありませんが、今一度交付の要件を確認しまして、要件に合う事業、実施できる事業があれば、積極的に活用していきたいと考えております。

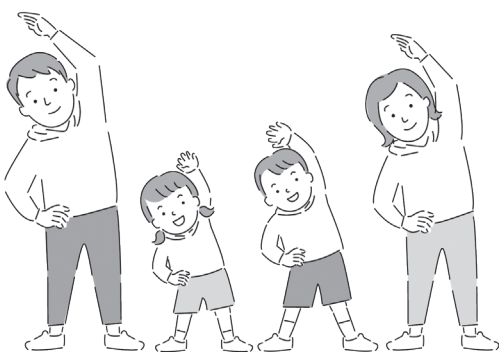
Q

P F I 事業を活用して、健康増進に係る企業の誘致を図る事も考えられるが、町の認識は。

A

当町では、第2次横芝光町総合計画において、財政運営の施策、財政構造の転換への取組の中で、P F I 事業などの民間活力の活用を推進すること

としています。P F I 事業の対象業務は、施設の設計・建設業務、開発準備業務、施設の維持管理業務、施設の運営業務と幅広いものであり、国保部門だけで進められる業務ではありません。住民の健康増進を狙いとしたP F I 事業を実施している先進自治体の事例を参考にし、町の実施する事業に健康増進の観点から参加できるものがあるのか、関係各課と意見交換をしながら調査研究してまいります。





内田 美穂 議員

Q いじめ重大事態が起きた際の 行動指針は

A 各学校で「いじめ防止のための基本的な方針」が策定されています

Q 町内における不登校の児童生徒数の推移は

A 令和3年度は、小学校19名、中学校32名（計51名）、令和4年度は、小学校29名、中学校49名（計78名）、令和5年度は、小学校42名、中学校44名（計86名）です。

Q 不登校で悩んでいるご家庭への情報提供は非常に重要と考えるが、相談先などの情報提供はどのようにしているか。

A 学校デジタル連絡ツール「スクリレ」や不登校支援担当者等を通じて、千葉県教育委員会が作成した「児童生徒・保護者のサポートガイド」や子どもと親のサポートセンターから発行された「サポート広場」「サポートルーム」等を周知しています。

Q 文科省のホームページに「不登校に関する地元の相談窓口」というページがあり、横芝光町のホームページ上にある相談窓口に飛べる状態になっているが、そのページの情報が不十分。そこを見れば必要な情報がすべて得られるような状態にできないか。

A 検討します

Q 外国籍の子どもたちへのサポートはどのようにしているか

A 翻訳機「ポケット」を活用し、日常の会話や授業をサポートしています。また、日本語指導が



必要な児童生徒に対し、日本語の指導をしています。今後も学びやすい教育環境を整え、一人ひとりに合ったペースで支援を行ってきたい。

Q いじめ問題対策連絡協議会の開催頻度は

A 現在まで開催に至っておりませんが、来年度に開催できるよう準備しています。

Q いじめ重大事態が起きた時の行動指針を示すものはあるか

A 平成25年に定められた「いじめ防止対策推進法」に基づき、各学校に「いじめ防止のための基本的な方針」が策定され、重大事態への対応についての手順や留意点などが示されています。

Q 「いじめ防止のための基本的な方針」は、毎年見直されているのか。

A 毎年度見直しをして改定の必要があればしています

Q 教育委員会へいじめ重大事態が報告された後の手順は国のガイドラインに沿って対応していることだが、国のガイドラインを毎年確認する機会はあるのか。

A 現在のところ、事案が出た場合に読み合わせをするという状況です。今後検討します。

Q 就学前の相談先は健康こども課、就学後の相談先は教育委員会と、支援が途切れることに問題意識を感じている。他市では、子ども関連の部局を教育委員会に一元化したことにより、切れ目ない支援が提供でき、教育と福祉の融合が見られる効果があったそうだが、町長の考えは。

A 今すぐは考えてはいませんが、健康こども課と教育委員会で別れていることは不合理な部分もあり、一元化は理想だろうという思いはあります。

一般質問

Q 予算執行に関するコスト意識の強化を求める

強化を求める



市原成一 議員

A 全職員の認識として二層強化したい

今後の予算編成方針が重要では

Q 合併以来の予算規模は、一般会計歳出総額が約1.5倍に増加している。一般財源は約1.2倍に留まり、今後も税収等の伸びが期待できず、より効果的効率的な財政運営を求められるが、令和7年度の予算編成方針の概要は。

A 歳入にあつては、社会経済情勢や国の制度改正の動向を注視しつつ、財源を的確に捕捉し、国県の補助事業を積極的に活用するなどにより多くの財源確保に努めるとともに、使料等の適正な受益者負担

Q 民間からの賃借による移住子育て世帯住宅事業は、町負担が多いが、実施を急ぎ検討不足だったのでは。PFIや国の補助を受けた直轄事業の方が経済的であったと思うが。

移住子育て世帯住宅事業は検討不足では

に努めます。また、税外収入の獲得に向け、ふるさと納税の推進やクラウドファンディング等の先進事例を調査研究し積極的に取り入れたい。歳出にあつては、既存事業の費用対効果の観点で廃止や再構築を含め積極的な見直しを行います。

A 旧横中プール跡地の土地利用として民間事業者からの子育て世帯住宅事業が提案され、町の事業費についても、30年間の契約に基づく負担額が提案されていたので、提案内容や先行事例を確認しそのとおり採用しました。

Q 移住子育て世帯住宅ヨコシバテラスの問合せ、内覧会の来訪や入居見込みは。空室は、町負担のみが増えることから、条件変更により入居の促進を図るべき。

A 12月1日現在、問合せ・内覧会共に15件です。1月からの入居見込みは10部屋中の2部屋です。

入居が少なければ、状況に応じて早い決断と条件変更の検討をします。

庁議で意見を求めるべき

Q 自動運転モビリティ事業と移住子育て世帯住宅事業について、課長会議で広く意見や助言を求めるべきであったのでは。(庁議Ⅱ町三役及び課長職会議)

A 自動運転モビリティ事業は、関係機関や関係課との検討協議により実施を判断し、議会議員全員協議会へ説明、その結果を庁議に報告しました。移住子育て世帯住宅事業も同様で庁議へは議会議員全員協

議会后に報告しました。

養護老人ホームの経営安定化を

Q 養護老人ホームの運営の実情を知り運営支援の検討を開始すべきでは

A 養護老人ホームの入所措置費が地方交付税算入に改正以来、入所措置を控える傾向となり、収入減から経営が悪化し、中には閉鎖する施設があることは承知しています。養護老人ホームは、生活に困窮する高齢者のセーフティネットとして重要であることから県当局も現状を危惧し、比較的措施実績が多い当町の実例等を参考に県内自治体の担当者研修会を開催し、養護老人ホームへの理解を深め、適正な入所措置を促し、施設の継続的かつ安定的な運営に繋がることを期待しています。



宮 蘭 博 香 議員



計画性のない職員採用を行い質の確保と経常経費の抑制が図れるのか



多様化、複雑化する行政需要に対応できるように必要な人材を確保する



人事は町長の最もの特権であり、高の特権を有効に活用することが出来なかった場合には、組織は崩壊する方向に向かいます。また、「人づくりはまちづくり」ともいわれています。それらを踏まえて伺います。

①近年の状況からすると中途退職は珍しくなくなってきましたが、今年度（4月から11月現在まで）の退職職員数を伺います。②今年度末退職予定職員数について、特別な事情がなければ新規採用職員募集を行う前には把握できていると思います。③現在休業中（30日以上）の職員数について、例えば一般行政職で、育児休

業何名というように、お答えいただければと思います。④現在の職員数については、臨時職員を含むと合併時よりも増えているにもかかわらず、来年度で19名も職員募集をかけています。計画性がなく、このような事を行うということであるならば、職員適正化計画についても信用することができなくなり、経常的経費の抑制についても夢物語となってしまうと思いますが、業種別の職員数について伺います。

①一般行政職員で3名です。また、退職理由は把握しておりません。②一般行政職員6名と保育士1名の7名です。③一般行政職員6名で、4名は育児休業中の職員です。2名は地方公務員法に規定されている心身の故障のため長期の休業を要する場合に該当している職員です。心身の故障により休職している職員に対しては、円滑に職場復帰できるように職場全体でサポートしています。④来年度採用職員数については、山武郡市職員合同採用試験で応募のあった31名の受験者の中から26名を第二次筆記試験の合格者とし、10月に集団面接、11月に特別職による個別面接を行い16名が最終合格者となりました。16名の内訳としては、一般行政職員11名、保健師2名、社会福祉士1名、保育士1名、土木職員1名となっています。今回の採用予定者は、今年度の退職者と退職予定者10名と令和6年2月末に2名いたことによる補充と未来づくり課設置に伴う2名の増員によるものです。保健師については、応募のあった2名を補充しました。今後も多様化、複雑化する行政需要に的確に対応できるよう適正な人材を確保していきます。



来年度採用職員で一般行政職初級は4名の募集であり、6名合格しましたが、その理由について伺います。



必要人員を確保するため、優秀な受験者が多かったことから、募集人員より多く採用しました。

※その他の質問

○令和7年度一般会計当初予算について
・予算編成方針について

Q 地域ブランド力強化の更なる支援を

A 「大木式ソーセージ」や「ひかりねぎ」を

町ブランドとして積極的にPRを行う



川島 富士子 議員

未来の宝を育てる教育行政

Q GIGAスクール端末の更新は

A 町では、令和3年3月に児童生徒1人1

台のタブレット端末の導入や高速大容量の通信環境の整備の下で新しい学びがスタートし、町内小中学校では、積極的に電子黒板やタブレット端末等のICT機器を活用した授業が行われています。端末の更新については、令和8年度に更新すべく計画をしています。

優しさあふれるまちづくり

Q 千葉県がん患者アピアランスケア支援事業の導入は

業の導入は

A 県では、がん治療に伴い、医療用補整具

等を購入した方に対し、市町村が購入等費用の一部を助成する事業を行った場合に、県から補助金が交付される事業として、「千葉県支援事業補助金交付要綱」を令和5年8月31日に施行しました。県の調査では、24の市町が当該助成制度を導入している状況です。町も助成制度の趣旨を踏まえ、導入に向けて検討してまいります。

活力ある誇れるまちづくり

Q 合併20周年記念事業は

を

Q 地域ブランド力強化のための更なる支援

A 「地域ブランド」とは、その地域に存在

する自然、歴史・文化、食、観光、特産品、産業などの地域資源の付加価値向上を図ることで他地域との差別化や市場における競争力強化に加え地域居住者の誇り、旅行者や消費者等に共感、愛着、満足度をもたらすものであり「地域そのものが持つ魅力ある個性」や「らしさ」であります。現在町では、日本人として初めて本格的なソーセージの製造を行った横芝光町出身の大木市蔵氏が遺されたレシピを基に、商工会青年部が「大木式のソーセージ・ハム・ベーコン」を復刻し大変好評です。また、農産物の代表である長ネギは、産地として国の指定を受けている

秋冬ネギ、春ネギを「ひかりねぎ」のブランド名で知られ第26回日本農業大賞に輝くなど市場で高く評価されています。今後も商工会や観光まちづくり協会をはじめとした各種団体と連携して、これらの特産品を町ブランドとして積極的にPR活動を行い町の活性化に努めてまいります。

※その他の質問

○未来の宝を育てる教育行政

・AIペアレンタルコントロールアプリの活用を

○優しさあふれるまちづくり

・軟骨伝導イヤホンの導入を

○活力ある誇れるまちづくり

・セルフサービス自動収納機の導入を





山崎 義貞 議員



消防機庫建設時の地元負担は



要領に基づき補助を行っています



▲横芝光町消防団第1分団第2部消防機庫



消防団員は地域の非常勤特別職の地方公務員です。消防団員が集まる詰所の建設に地元負担が生じます。地元負担をなくすべきです。



地元からの要望により消防機庫や詰所の建て替えを行う場合に機庫の新築や建て替えについては全額補助となりますが、機庫と合わせて詰所の新築や建て替えを行う場合、詰所部分に対しては2/3が補助対象となります。



大規模災害が発生した場合には、避難場所として学校施設の活用も必要です。学校の施設利用は。



学校を避難所として開設する場合、体育館を主として避難者の受け入れを行い、そこから避難生活が長期化した場合や要配慮者を振り分ける必要が生じた場合には、施設管理者と協議のうえ教室を避難場所として利用することになります。



自主防災組織の組織率が低いことを指摘してきました。大規模災害時に命を守ることにつながる自主防災組織の現状と組織率向上の取り組みは。



令和6年12月1日現在の組織数は10組織です。町では、地域の「共助」の根幹である自主防災組織の育成を図るため、災害対策活動用資機材の購入

に対して自主防災組織設置促進事業補助金の交付を行なっており、令和6年度は1地区より相談がありました。町防災訓練や町づくり出前講座などで自主防災組織の重要性を周知するとともに、町広報紙やホームページ等を活用して普及促進を図っていきます。



農業機械の大幅な値上がりで、更新出来なく廃業を選択する農家が 증가しています。農業機械の共同化の取り組みを進め、農家負担の軽減を進めて、廃業をくい止めなければならぬと考えます。農業用機械施設等共同化促進事業の取り組みは。



横芝光町農業用機械施設等共同化促進事業補助金交付要綱により、農業生産性の向上及び経営の改善を目的とした営農集団に対しまして毎年、要望を取りまとめ補助金を交付

しております。令和6年度は3団体へ補助金の交付をしており、8月までには完了しています。



有機米の需要は近年急速に増加しています。消費者が健康的な食品に関心を持つようになり、農薬や化学肥料などの化学物質による健康被害を心配するようになったからだと言われています。有機米の生産は環境にやさしい、持続可能な農業の一環として、生産農家の所得の向上、町農業の発展にも役立つ政策として取り組みを進めるべきです。



当町で有機農業に関する相談があった際には、山武農業事務所とともに営農計画を基本として、「有機JAS」などの制度説明や営農指導などの相談を行なっています。

合同視察研修

1日目 ～地方創生の先進事例～

10月17日、18日に横芝光町議会二常任委員会合同視察研修を実施し、1日目は茨城県境町を視察。さかいまちづくり公社の方から「ふるさと納税ならびに移住定住の取り組み」についてご説明いただきました。境町が財政改善のためにまず初めにしたことは、「成功モデルの視察」だそうです。議会全員と関係者で成功モデルを視察し、「徹底的にパクッてパクリ倒してアレンジする（T. P. P. A）」ことで、政策実現を加速させているとのこと。境町は、ふるさと納税に依存しないまちづくりを目指しつつも、制度がある今はそれを最大限活用し、財源の確保に繋げており、その財源を使って子育てや教育に力を入れ、それを子育て世代の移住定住に繋げるという好循環を生み出していました。境町への移住・定住を希望する子育て世帯のための物件として、20年住み続けた方に土地・建物を無償譲渡するという事業も行っているそうです。とても参考になりました。



▲境町アーバンスポーツパーク



▲自動運転車両遠隔監視センター（境町）

議会ダイアリー

11月

1日・移住子育て世帯住宅「ヨコシバテラス」内覧

・国民健康保険運営協議会

2日・成田市制施行七十周年記念式典

8日・令和6年第2回千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会

・大総地区福祉のつどい

15日・匝瑳市ほか二町環境衛生組合一般会計

例月出納検査

17日・第19回町産業まつり

・東金市市制施行七十周年記念式典

18日・横芝駅北側拠点形成準備会議

20日・例月出納検査

22日・議会運営委員会

・第2回千葉県町村議会議長会定例会及び議長・副議長自治研修会

27日・農業振興地域整備促進協議会

28日・議会議員全員協議会

29日・学校給食調理業務委託業者選定審査会

12月

1日・町青少年剣道大会

3日・12月議会定例会（1日目）

6日・12月議会定例会（2日目）

10日・12月議会定例会（3日目）

・広報委員会

二常任委員会

2日目 ～土地区画整理事業～

2日目、常陸太田市では、市長・議会議長の歓迎あいさつの後、土地区画整理事業の実施状況について、都市建設課長より説明を受けました。常陸太田市は、現在当町が計画している、横芝光IC周辺産業用地整備事業の事業化検討パートナーである清水建設(株)グループが実際に手掛けて、賑わいの場を実現した場所です。商業業務用地の開発を組合施行による土地区画整理事業を業務代行方式により行う手法を学び、質疑応答では活発な意見が交わされました。当町でも、開発の促進により地域産業・雇用・賑わいの創出など、大きな経済効果が期待されています。

行方市の廃校活用事例では、甘藷栽培収穫とさつまいもスイーツ等の食品製造工場、体験型農業テーマパークの運営により農業の活性化と雇用創出、観光客増加が図られています。

当町が掲げる将来像「人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち横芝光」につなげるための有意義な研修でした。



▲常陸太田市東部土地区画整理事業地内



▲常陸太田市役所会議室

1月

- 16日・横芝駅北側拠点形成準備会議
- 17日・総合計画審議会
- 18日・旭市議会（総務常任委員会）行政視察
- 【自動運転バス】
- ・男女共同参画推進会議
- 19日・成田国際空港視察及び第2回成田国際空港騒音対策委員会山武・横芝光地区部会
- 20日・例月出納検査
- ・地域公共交通会議
- ・空家等対策協議会
- 10日・広報委員会
- 12日・二十歳を祝う式典
- 16日・山口県光市議会（会派）行政視察
- 【自動運転バス】
- ・町営住宅入居者選考委員会
- 17日・成田国際空港関連問題対策委員会
- 19日・消防出初式
- 20日・令和7年第1回千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- ・広報委員会
- 23日・横芝光IC周辺まちづくり推進協議会
- 24日・山武郡市議会議長会定期総会
- 26日・第19回町内駅伝大会
- 28日・例月出納検査
- 30日・令和7年第1回千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 31日・議会議員全員協議会

二常任委員会合同視察研修 (10月17日～18日)



▲境町アーバンスポーツパーク



▲常陸太田市議会議場



▲自動運転車両遠隔監視センター（境町）

編集後記

今年の「巳年」は60年に一度巡ってくる「乙巳（きのとみ）」の一年にあたります。この年は、変化と新たな挑戦のエネルギが高まる年とされています。ヘビは「新しい自分に生まれ変わる。幸せな未来をつかむ」という意味を持っているそうです。目的をはっきりさせ、幸せづくりを計画的に進め、心にしたためていた新たな挑戦をしてみたいかがですか？

さて、私たちの生活は、引き続き円安などの影響で、食料品や生活必需品、生活資材の値上げで生活は苦しくなっていくばかりです。国会では来年度予算が審議されていますが、生活を守るための生活密着型の予算の増額が求められます。

議会だよりが、より身近な良いものとなるよう改善してまいります。皆さんのご意見をお待ちしています。

広報委員会

委員長 鈴木 輝男
副委員長 小倉 弘業
委員 川島富士子
山崎 義貞
秋鹿 幹夫
市原 成一
霞 浩子
内田 美穂